

日商産一発 第40号
2012年6月29日

商工会議所LOBO（早期景気観測）
――2012年6月調査結果――

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年6月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替
TEL：03-3283-7839
FAX：03-3213-8716
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年6月15日～21日
○調査対象：全国の416商工会議所が3004企業にヒアリング
（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	448	243	54.2%	北海道	42.1%
製造	726	402	55.4%	東北	54.0%
卸売	315	179	56.8%	北陸信越	48.9%
小売	738	365	49.5%	関東	56.2%
サービス	777	378	48.6%	東海	46.7%
合計	3004	1567	52.1%	近畿	45.0%
				中国	49.8%
				四国	75.6%
				九州	54.9%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

―――【2012年6月調査結果のポイント】―――

業況DIは、悪化。先行きへの不安は依然根強い

6月の全産業合計の業況DIは、▲21.3と、前月から▲3.8ポイント悪化。製造業では、エコカー補助金等が下支えしているものの、超円高等を背景に海外移転や海外調達が増速していることから受注減少が著しい。また、小売・サービス業では、大手専門店（ドラッグストア・ホームセンター等）、飲食店の出店増に伴い顧客争奪が一段と激化していることが影響。なお、業況等のDIは、比較対象の前年同月（2011年6月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

先行きについては、先行き見通しDIが▲24.7（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速や、今夏の電力供給不足による事業活動への影響、住宅エコポイント制度、エコカー補助金終了による内需の反動減等の懸念から、先行きへの不安は依然根強い。

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年6月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 21.3	▲ 19.1	▲ 13.7	▲ 14.5	▲ 34.2	▲ 21.5
北 海 道	▲ 18.3	0.0	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 47.6	▲ 8.3
東 北	▲ 9.1	8.3	▲ 6.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.5
北陸信越	▲ 24.2	▲ 37.5	▲ 8.8	▲ 15.8	▲ 22.9	▲ 33.3
関 東	▲ 19.6	▲ 13.7	▲ 24.0	▲ 1.6	▲ 24.3	▲ 24.3
東 海	▲ 11.1	▲ 17.4	5.2	▲ 22.2	▲ 42.1	0.0
近 畿	▲ 30.3	▲ 22.2	▲ 11.3	▲ 21.1	▲ 47.7	▲ 43.9
中 国	▲ 27.5	0.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 48.0	▲ 20.0
四 国	▲ 31.4	▲ 42.9	▲ 17.9	▲ 50.0	▲ 43.3	▲ 16.7
九 州	▲ 25.2	▲ 42.9	▲ 18.2	0.0	▲ 35.9	▲ 23.7

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年7～9月）

上段：2012年6月時点
下段：2011年6月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 24.7	▲ 19.6	▲ 22.4	▲ 15.1	▲ 37.4	▲ 22.7
北 海 道	▲ 38.4	▲ 45.8	▲ 27.7	▲ 46.8	▲ 38.8	▲ 41.4
東 北	▲ 22.0	▲ 6.3	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 12.5
北陸信越	▲ 31.4	▲ 33.3	▲ 27.3	0.0	▲ 44.4	▲ 33.3
関 東	▲ 14.0	4.2	▲ 25.8	0.0	▲ 20.0	▲ 14.8
東 海	▲ 25.6	▲ 17.6	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 18.5	▲ 36.8
近 畿	▲ 17.8	▲ 25.8	▲ 14.7	0.0	▲ 25.7	▲ 15.2
中 国	▲ 38.4	▲ 39.3	▲ 23.5	▲ 69.2	▲ 29.4	▲ 51.7
四 国	▲ 26.3	▲ 17.8	▲ 30.0	▲ 16.4	▲ 33.3	▲ 27.0
九 州	▲ 41.6	▲ 57.4	▲ 29.3	▲ 48.6	▲ 37.8	▲ 44.4
全 国	▲ 15.4	0.0	▲ 10.3	▲ 16.7	▲ 36.8	▲ 11.8
北 海 道	▲ 27.5	▲ 31.6	▲ 9.1	▲ 57.9	▲ 40.5	▲ 17.6
東 北	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 11.3	▲ 5.3	▲ 50.0	▲ 41.5
北陸信越	▲ 38.8	▲ 50.0	▲ 32.6	▲ 21.4	▲ 44.7	▲ 39.5
関 東	▲ 36.3	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 56.0	▲ 15.0
東 海	▲ 39.8	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 45.5	▲ 36.0	▲ 71.4
近 畿	▲ 31.4	▲ 23.8	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 53.3	▲ 26.7
中 国	▲ 46.4	▲ 63.2	▲ 25.9	▲ 70.0	▲ 44.4	▲ 48.1
四 国	▲ 30.7	▲ 66.7	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 33.3	▲ 24.3
九 州	▲ 48.6	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 51.4	▲ 40.7

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

産業別にみると、業況DIは、建設業は改善、卸売業はほぼ横ばい、その他の3業種は悪化。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「一般住宅の耐震改修工事の受注が増加している。今後は省エネ住宅の普及による工事の増加を期待」（建築工事業）、「携帯電話基地局の設備投資が旺盛なため、工事が増加」（電気通信工事業）、「再生可能エネルギー固定価格買取制度に先駆け、県が新エネルギー導入に対する事業者向け助成制度を始めたことから関連工事の受注を期待」（一般工事業）

【製造業】「鋼材・ポンプ装置等の海外調達を検討中。品質確保、安定供給が課題」（土木・鉱山機械製造業）、「現在の円高水準では輸出比率の高い当社にとっては大きな打撃。実質的に値下げをして出荷をしているような状況」（金属加工業）、「電力料金値上げの影響が大きく、採算割れになった」（鋳物製造業）

【卸売業】「取引先の海外生産（中国）において現地調達が増加。このため、中国企業との価格競争が激化している」（服飾付属品卸売業）、「コメの流通量が減少しており、在庫の確保が困難」（農産品卸売業）、「国内市場が縮小傾向にあることから海外での販売を増やしたいが、現地の嗜好、風習への対応、為替変動等を考えると難しい」（食器卸売業）

【小売業】「中元商戦は土日に雨が多かったことから、低調なスタート」（百貨店）、「競合店の出店により価格競争が激しくなっている。パートタイマーの確保も困難」（総合スーパー）、「中国における人件費高騰により仕入価格は上昇しているものの、販売価格への転嫁は困難」（スポーツ用品店）

【サービス業】「軽油価格は足元でやや下落しているものの、2、3年前と比較すると2割程度は高い状況」（運送業）、「インバウンド客による宿泊が回復傾向にはあるが、円高の影響により前々年の実績には戻っていない」（旅館）、「地元の原発停止により、関連施設の作業員による利用が激減」（飲食店）

【業況についての判断】

○ 6月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲21.3（前月比▲3.8ポイント）と、悪化。産業別にみると、建設業は、復興需要を中心とした公共工事や住宅エコポイント制度に伴うリフォーム工事等により改善。製造業は、超円高等により取引先からのコストダウン要請が強く受注単価が下落していることや電力料金の値上げに伴うコスト負担増などから業況が悪化。小売業は、大手専門店等の出店増およびスマートフォン等の普及による消費者のインターネット通販へのシフトが一段と進んでいることから厳しい状況。サービス業は、超円高等の影響から外国人観光客が本格回復には至っていないことに加え、週末の天候不良によりレジャー・飲食関連の売上が伸び悩んだことから悪化した。なお、業況DIは、比較対象の前年同月（2011年6月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

○ 向こう3カ月（7～9月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲24.7（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、住宅エコポイント制度の終了による反動減の懸念はあるものの横ばい。製造業は、エコカー補助金終了後の反動減の懸念などからマイナス幅が拡大。小売業、サービス業は、超円高の長期化により、海外の低価格品の流通拡大、外国人観光客の回復の遅れ等の懸念などから悪化の見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲15.5（前月比▲5.6ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、復興需要を中心とした公共工事や住宅エコポイント制度に伴うリフォーム工事等により改善。製造業は、超円高等により取引先からのコストダウン要請が強く受注単価が下落していることや電力料金の値上げに伴うコスト負担増などから業況が悪化。小売業は、大手専門店等の出店増およびスマートフォン等の普及による消費者のインターネット通販へのシフトが一段と進んでいることから厳しい状況。サービス業は、超円高等の影響から外国人観光客が本格回復には至っていないことに加え、週末の天候不良によりレジャー・飲食関連の売上が伸び悩んだことから悪化した。なお、売上DIは、比較対象の前年同月（2011年6月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

○ 向こう3カ月（7～9月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲18.9（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。

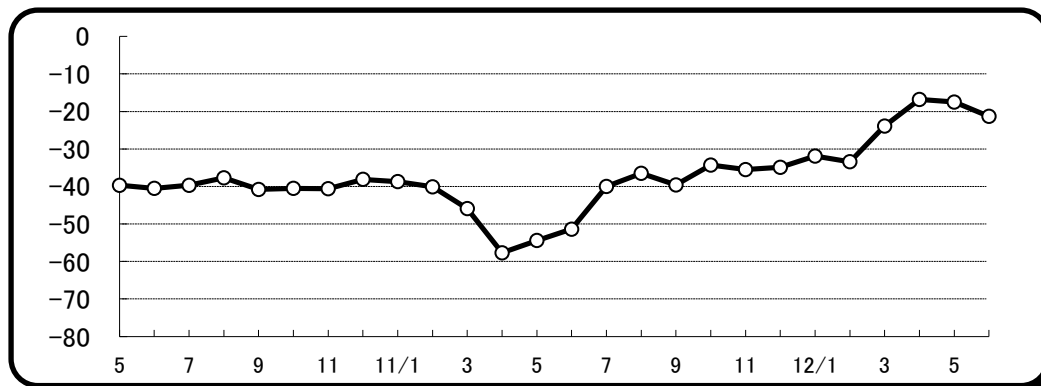
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、卸売業はほぼ横ばい、その他の3業種については悪化する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	12年						先行き見通し 7～9月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
全産業	▲31.9	▲33.4	▲23.9	▲16.8	▲17.5	▲21.3	▲24.7
建設	▲29.0	▲29.1	▲33.6	▲24.0	▲24.9	▲19.1	▲19.6
製造	▲25.6	▲27.6	▲15.3	▲9.5	▲7.5	▲13.7	▲22.4
卸売	▲22.3	▲27.6	▲27.4	▲17.3	▲14.0	▲14.5	▲15.1
小売	▲40.3	▲42.0	▲30.0	▲27.5	▲29.3	▲34.2	▲37.4
サービス	▲36.2	▲36.2	▲18.1	▲9.6	▲13.8	▲21.5	▲22.7

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI

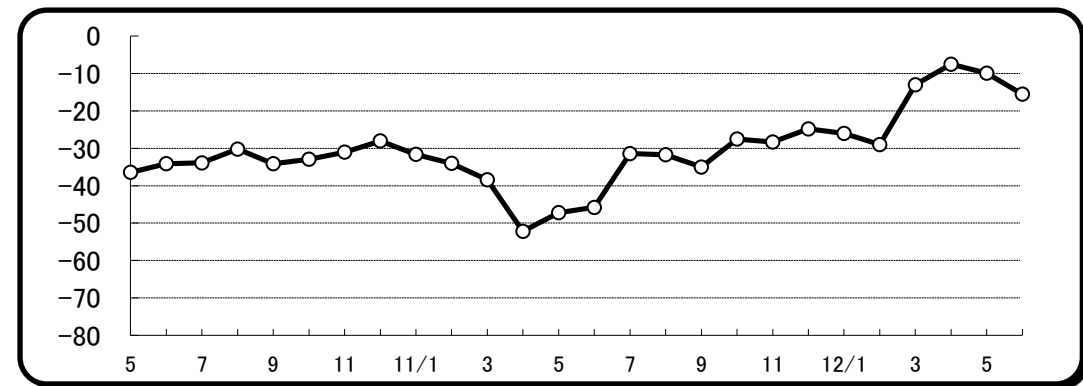
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	12年						先行き見通し 7～9月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
全産業	▲26.0	▲29.0	▲13.0	▲7.5	▲9.9	▲15.5	▲18.9
建設	▲24.3	▲24.7	▲19.7	▲14.7	▲17.6	▲12.3	▲12.0
製造	▲19.6	▲20.2	▲5.5	0.8	0.5	▲7.5	▲15.2
卸売	▲22.9	▲28.4	▲11.6	▲9.3	▲6.7	▲9.5	▲9.5
小売	▲31.7	▲36.8	▲18.1	▲15.5	▲22.6	▲30.3	▲32.6
サービス	▲29.2	▲33.5	▲11.4	▲3.3	▲5.4	▲14.6	▲18.6

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲19.4（前月比▲4.1ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、一部の建築資材価格が下落したこと等により改善。製造業は、取引先からのコストダウン要請が強く受注価格が下落していること等により悪化。小売業、サービス業は、価格競争の激化により悪化。なお、採算D Iは、比較対象の前年同月（2011年6月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

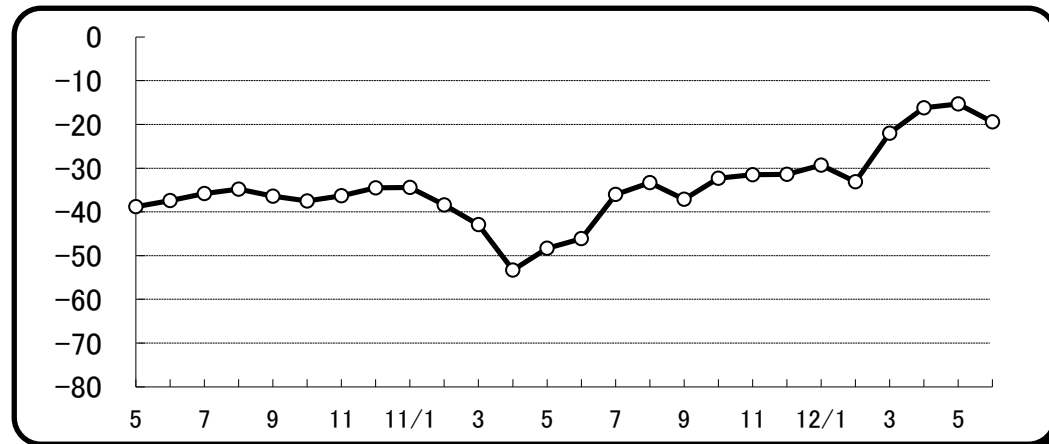
○ 向こう3カ月（7～9月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）は▲22.9と、今月から▲3.5ポイントの悪化を見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、ほぼ横ばい、その他の4業種はマイナス幅が拡大する見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲29.3	▲33.1	▲22.0	▲16.2	▲15.3	▲19.4	▲22.9
建設	▲31.6	▲35.2	▲34.0	▲22.7	▲26.4	▲22.8	▲23.7
製造	▲24.0	▲26.7	▲15.2	▲13.1	▲6.7	▲14.7	▲19.0
卸売	▲20.5	▲27.6	▲18.9	▲13.6	▲11.2	▲9.5	▲11.7
小売	▲32.6	▲37.2	▲25.7	▲20.1	▲21.9	▲28.3	▲31.9
サービス	▲34.0	▲36.7	▲18.2	▲12.6	▲13.4	▲18.6	▲23.5

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲20.4	▲19.5	▲16.9	▲9.7	▲10.7	▲12.7	▲17.6
建設	▲24.5	▲21.9	▲23.5	▲14.9	▲12.8	▲15.2	▲19.0
製造	▲16.2	▲15.3	▲10.6	▲5.2	▲6.5	▲7.0	▲15.6
卸売	▲12.1	▲10.3	▲13.0	▲5.0	▲5.6	▲4.5	▲7.3
小売	▲23.0	▲24.0	▲18.3	▲13.9	▲15.0	▲16.9	▲21.9
サービス	▲23.2	▲22.1	▲19.2	▲9.6	▲12.0	▲17.1	▲19.6

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲12.7と、前月から悪化。産業別にみると、建設業は、工事が増加傾向にあり、手元資金に動きがあることから悪化。小売業、サービス業は、売上が減少していることから悪化。製造業は、ほぼ横ばい、卸売業は、僅かに改善した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲25.6	▲21.6	▲29.0	▲30.1	▲25.1	▲19.3	▲16.1
建設	▲31.4	▲30.0	▲35.8	▲38.1	▲35.5	▲25.5	▲23.9
製造	▲30.4	▲26.1	▲35.9	▲34.3	▲29.0	▲21.0	▲16.0
卸売	▲23.6	▲10.3	▲23.8	▲24.1	▲20.8	▲19.0	▲16.2
小売	▲17.3	▲15.1	▲19.7	▲21.5	▲16.1	▲11.4	▲9.7
サービス	▲26.0	▲23.1	▲29.4	▲31.7	▲25.3	▲21.3	▲17.3

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲19.3と、前月からマイナス幅が縮小。2カ月連続の改善。産業別にみても全ての業種で改善。原油等の一部の原材料価格に低下がみられたことを反映。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ縮小する見込み。産業別にみると、全ての業種でマイナス幅が縮小する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲2.2	▲2.8	▲3.3	0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.4
建設	▲4.3	▲5.7	▲6.3	▲3.5	▲7.2	▲4.1	0.8
製造	▲5.5	▲4.8	▲4.7	▲2.6	▲4.0	▲0.2	▲3.2
卸売	▲6.0	▲5.1	▲5.5	▲4.3	▲6.2	▲7.8	▲5.6
小売	0.8	0.3	▲3.3	3.4	0.5	1.6	2.8
サービス	1.1	▲0.9	1.1	3.9	4.1	4.0	1.3

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは▲0.3と、前月から改善。産業別にみると、建設業、製造業は、人手過剰感が弱まったが、卸売業は、人手過剰感が強まった。小売業は、人手不足感が強まった。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、ほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業は、人手過剰感が弱まるが、製造業は人手過剰感が強まる見込み。小売業は人手不足感が強まるが、サービス業は人手不足感が弱まる見込み。

2012年6月

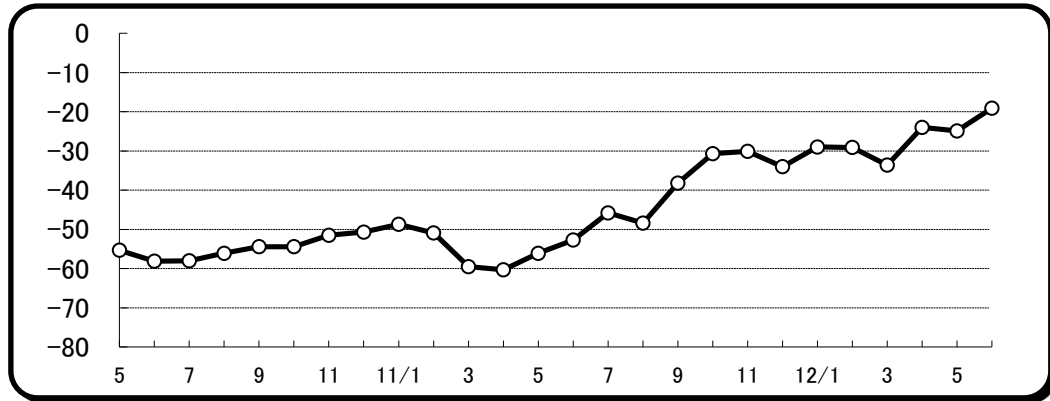
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-15.5	-18.9	-19.4	-22.9	-12.7	-17.6	-19.3	-16.1	-0.3	-0.4	-21.3	-24.7
北海道	-4.8	-13.3	-6.1	-15.9	-3.7	-9.8	-12.2	-4.9	2.4	-1.2	-18.3	-22.0
東北	-1.7	-4.1	-11.6	-11.6	-2.5	-12.5	-32.5	-21.7	6.6	4.1	-9.1	-14.0
北陸信越	-24.2	-15.8	-24.8	-20.4	-15.9	-13.1	-21.6	-18.4	-3.3	0.0	-24.2	-17.8
関東	-16.0	-23.1	-24.0	-29.9	-12.8	-19.3	-18.2	-17.9	1.7	-0.2	-19.6	-26.3
東海	-2.7	-12.7	-6.3	-14.8	-12.4	-14.6	-16.1	-12.9	3.7	4.8	-11.1	-15.4
近畿	-17.2	-24.1	-28.2	-31.4	-12.2	-17.4	-18.1	-19.4	-2.9	-4.0	-30.3	-28.6
中国	-26.5	-20.8	-20.8	-17.8	-16.8	-23.8	-11.9	-10.9	-10.8	-9.8	-27.5	-36.3
四国	-26.4	-26.4	-24.0	-22.3	-18.2	-21.5	-24.0	-16.5	-3.3	-0.8	-31.4	-31.4
九州	-19.9	-18.5	-15.2	-21.3	-16.0	-21.5	-20.0	-13.4	-2.6	0.0	-25.2	-30.7
建設												
全国	-12.3	-12.0	-22.8	-23.7	-15.2	-19.0	-25.5	-23.9	-4.1	0.8	-19.1	-19.6
北海道	23.5	-11.8	18.8	-6.3	0.0	-6.3	-31.3	-12.5	6.3	-6.3	0.0	-6.3
東北	29.2	20.8	0.0	0.0	8.3	-4.2	-43.5	-43.5	16.7	16.7	8.3	4.2
北陸信越	-31.3	-22.6	-46.9	-38.7	-31.0	-31.0	-28.1	-22.6	0.0	12.9	-37.5	-25.8
関東	-12.3	-18.1	-27.4	-30.1	-12.7	-16.9	-28.2	-31.0	-6.9	0.0	-13.7	-17.8
東海	-20.8	12.5	-20.8	-8.3	-16.7	-4.2	-8.3	-20.8	0.0	16.7	-17.4	0.0
近畿	-11.1	-16.7	-22.2	-27.8	-11.1	-11.1	-11.1	-16.7	-16.7	-16.7	-22.2	-22.2
中国	15.4	7.7	-8.3	-7.7	-7.7	-15.4	-15.4	-15.4	0.0	-7.7	0.0	-23.1
四国	-33.3	-9.5	-38.1	-23.8	-28.6	-28.6	-28.6	-14.3	-4.8	-4.8	-42.9	-23.8
九州	-47.6	-52.4	-23.8	-42.9	-33.3	-52.4	-23.8	-14.3	-28.6	-19.0	-42.9	-66.7
製造												
全国	-7.5	-15.2	-14.7	-19.0	-7.0	-15.6	-21.0	-16.0	-0.2	-3.2	-13.7	-22.4
北海道	-7.1	-14.3	0.0	-28.6	0.0	-14.3	-7.1	7.1	-14.3	-14.3	-7.1	-28.6
東北	16.1	-12.9	3.2	-16.1	0.0	-22.6	-35.5	-19.4	6.5	3.2	-6.5	-25.8
北陸信越	-14.7	-11.8	-23.5	-11.8	-18.2	-12.1	-26.5	-20.6	-8.8	-5.9	-8.8	-14.7
関東	-14.0	-24.2	-24.8	-30.8	-7.5	-18.5	-23.1	-20.0	1.7	-5.0	-24.0	-30.0
東海	5.2	-10.3	-3.4	-6.9	-6.9	-8.8	-13.8	-5.2	3.4	0.0	5.2	-10.3
近畿	5.7	-7.5	-9.4	-13.2	-3.8	-15.1	-19.6	-21.6	-3.8	-7.5	-11.3	-11.3
中国	-30.0	-10.0	-23.3	-13.3	-10.0	-23.3	-6.7	-13.3	-10.0	-6.7	-20.0	-33.3
四国	-28.6	-21.4	-21.4	-17.9	-7.1	-14.3	-25.0	-14.3	7.1	3.6	-17.9	-21.4
九州	-3.0	-9.1	-6.1	-18.2	-6.1	-9.1	-24.2	-18.2	3.0	3.0	-18.2	-27.3

2012年6月

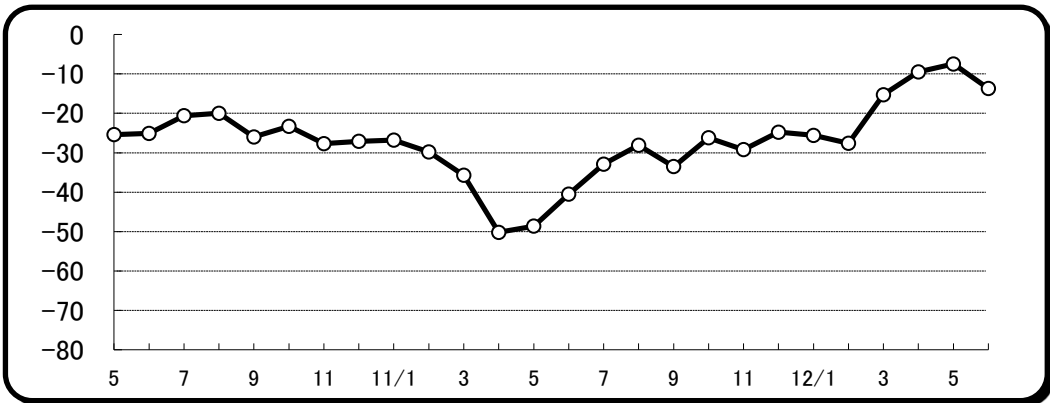
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-9.5	-9.5	-9.5	-11.7	-4.5	-7.3	-19.0	-16.2	-7.8	-5.6	-14.5	-15.1
北海道	0.0	-14.3	-28.6	-28.6	0.0	-14.3	-28.6	-14.3	-14.3	0.0	-28.6	-28.6
東北	-11.1	22.2	-11.1	-11.1	-22.2	-11.1	-44.4	-33.3	0.0	-11.1	0.0	0.0
北陸信越	-26.3	5.3	-5.3	0.0	-5.6	11.1	-36.8	-26.3	-5.3	0.0	-15.8	0.0
関東	3.3	-13.1	-4.9	-16.4	-1.7	-11.7	-16.4	-23.0	-1.6	-1.6	-1.6	-16.4
東海	-16.7	-11.1	-16.7	-22.2	-5.6	-11.1	0.0	-11.1	-16.7	-16.7	-22.2	-16.7
近畿	-10.5	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-31.6	-10.5	-5.3	-21.1	-5.3
中国	-35.7	-42.9	-7.1	-21.4	-7.1	-7.1	0.0	14.3	-7.1	-21.4	-42.9	-50.0
四国	-25.0	-33.3	-41.7	-16.7	-8.3	-8.3	-33.3	-8.3	-8.3	8.3	-50.0	-25.0
九州	0.0	5.0	15.0	15.0	5.0	-5.0	-20.0	5.0	-20.0	-10.0	0.0	-5.0
小売												
全国	-30.3	-32.6	-28.3	-31.9	-16.9	-21.9	-11.4	-9.7	1.6	2.8	-34.2	-37.4
北海道	-23.8	-28.6	-19.0	-23.8	-9.5	-14.3	0.0	0.0	9.5	4.8	-47.6	-38.1
東北	-26.7	-16.7	-23.3	-16.7	-13.8	-13.8	-3.3	-10.0	-6.7	0.0	-20.0	-20.0
北陸信越	-31.4	-20.0	-20.0	-25.7	-3.0	-12.1	-14.3	-11.4	-2.9	-2.9	-22.9	-25.7
関東	-29.1	-30.4	-29.1	-35.3	-19.8	-24.2	-6.8	-4.9	14.6	10.8	-24.3	-33.3
東海	-24.3	-34.2	-21.1	-27.0	-16.7	-22.2	-18.4	-18.4	2.6	2.6	-42.1	-36.8
近畿	-30.2	-46.5	-41.9	-54.8	-7.1	-19.0	-19.0	-9.5	-7.0	-4.7	-47.7	-50.0
中国	-44.0	-41.7	-40.0	-29.2	-37.5	-45.8	0.0	-4.2	-28.0	-20.0	-48.0	-56.0
四国	-30.0	-53.3	-26.7	-36.7	-23.3	-23.3	-33.3	-26.7	0.0	6.7	-43.3	-53.3
九州	-35.9	-25.6	-28.2	-23.1	-21.1	-21.1	-7.9	-7.9	2.6	7.7	-35.9	-33.3
サービス												
全国	-14.6	-18.6	-18.6	-23.5	-17.1	-19.6	-21.3	-17.3	4.0	1.3	-21.5	-22.7
北海道	-8.3	0.0	-8.3	-4.2	-4.2	-4.2	-8.3	-8.3	8.3	4.2	-8.3	-12.5
東北	-18.5	-11.1	-25.9	-11.1	3.7	-7.4	-48.1	-14.8	14.8	3.7	-18.5	-14.8
北陸信越	-18.2	-21.2	-21.2	-18.2	-18.8	-12.5	-9.1	-15.2	0.0	-3.1	-33.3	-15.2
関東	-18.8	-24.1	-26.8	-31.3	-18.5	-21.5	-18.2	-16.4	-2.7	-4.5	-24.3	-27.0
東海	17.6	-11.8	11.5	-15.4	-16.0	-22.0	-27.1	-14.6	13.7	13.7	0.0	-11.8
近畿	-39.0	-36.6	-43.9	-42.5	-30.0	-27.5	-19.5	-22.5	12.5	7.5	-43.9	-41.5
中国	-20.0	-15.0	-10.0	-15.0	-15.0	-15.0	-40.0	-30.0	0.0	5.0	-20.0	-15.0
四国	-16.7	-13.3	-6.7	-13.3	-20.0	-26.7	-6.7	-13.3	-13.3	-13.3	-16.7	-26.7
九州	-13.2	-13.2	-21.1	-29.7	-21.1	-24.3	-26.3	-24.3	10.5	5.4	-23.7	-24.3

業況D I（前年同月比）の推移（全国）

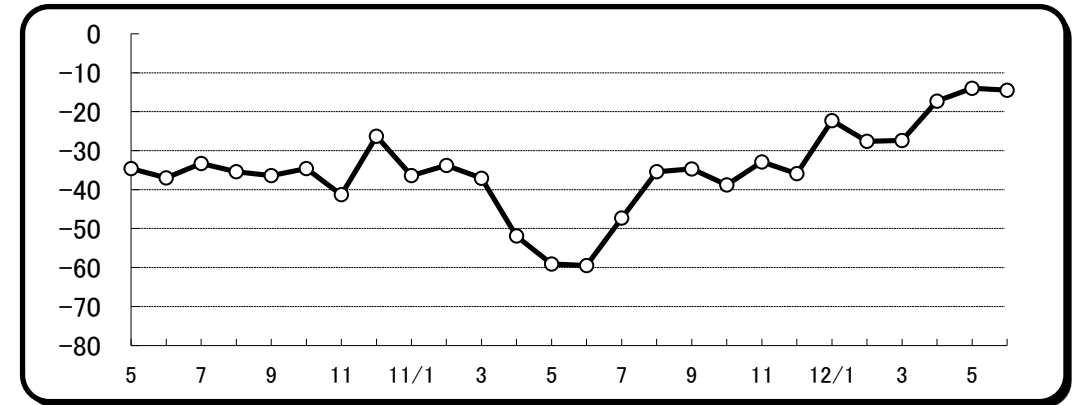
建設業



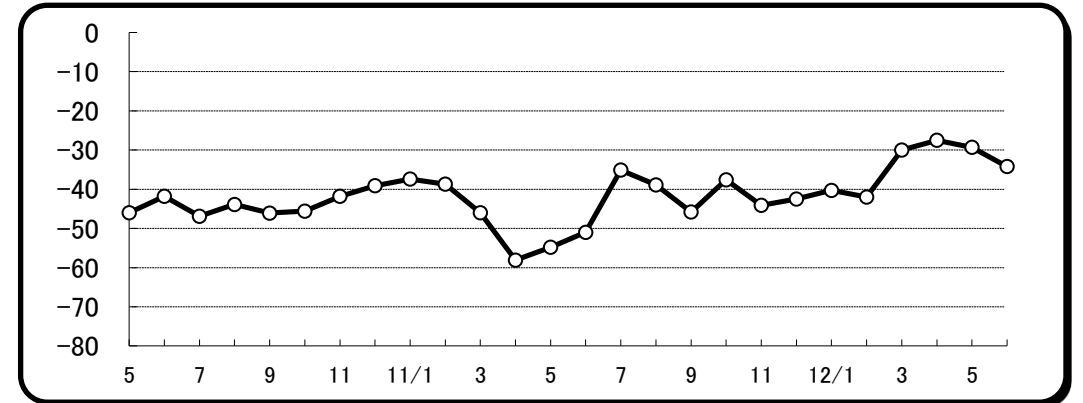
製造業



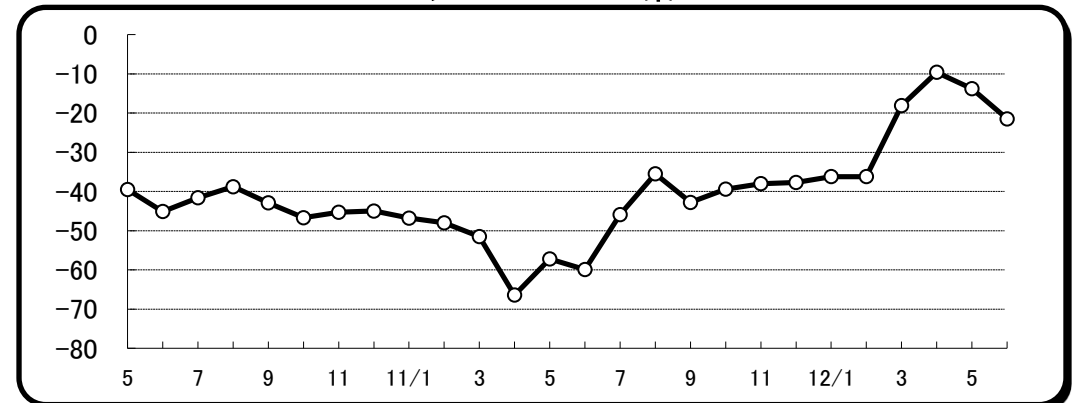
卸売業



小売業



サービス業



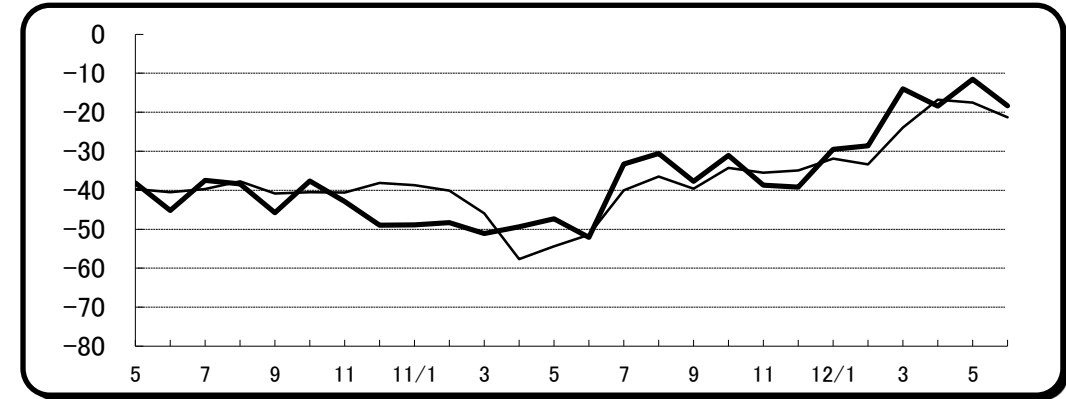
【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業が改善、その他の3業種で悪化した。
 ○農業用機械製造業からは、「今のところ受注量は確保できているが、その後の新規受注がなく、見通しが立たない」とのコメント。商店街からは、「気温が低いため、初夏物の衣料が不振」とのコメント。飲食店からは、「震災の影響により落ち込んだ売上が、やや持ち直している」との声、旅館業からは、「関東・近畿方面からの観光客が増加」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業はマイナス幅が縮小、卸売業は横ばい、その他の3業種は悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

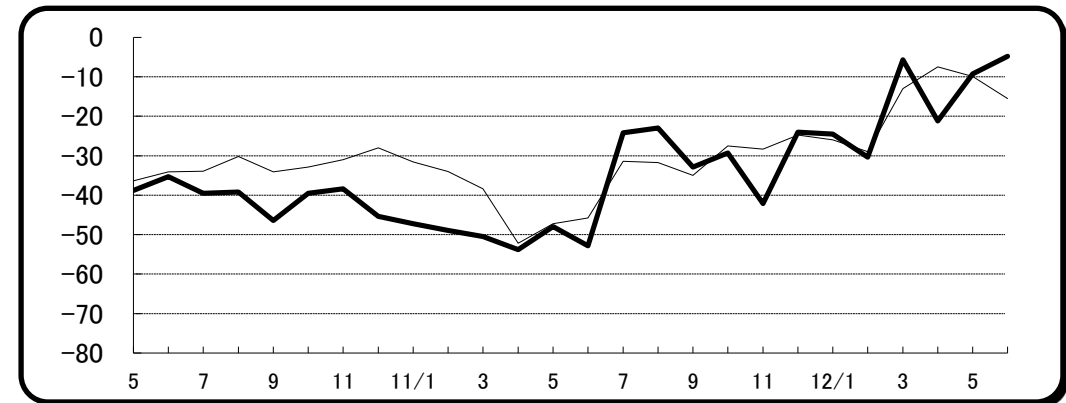
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 29.5	▲ 28.6	▲ 14.0	▲ 18.4	▲ 11.5	▲ 18.3	▲ 22.0
売上	▲ 24.5	▲ 30.4	▲ 5.7	▲ 21.2	▲ 9.3	▲ 4.8	▲ 13.3
採算	▲ 22.9	▲ 26.4	▲ 15.1	▲ 21.4	▲ 12.6	▲ 6.1	▲ 15.9
資金繰り	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 4.7	▲ 10.2	▲ 9.4	▲ 3.7	▲ 9.8
仕入単価	▲ 27.2	▲ 23.3	▲ 22.1	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.2	▲ 4.9
従業員	▲ 8.6	▲ 5.5	▲ 5.8	0.0	1.0	2.4	▲ 1.2

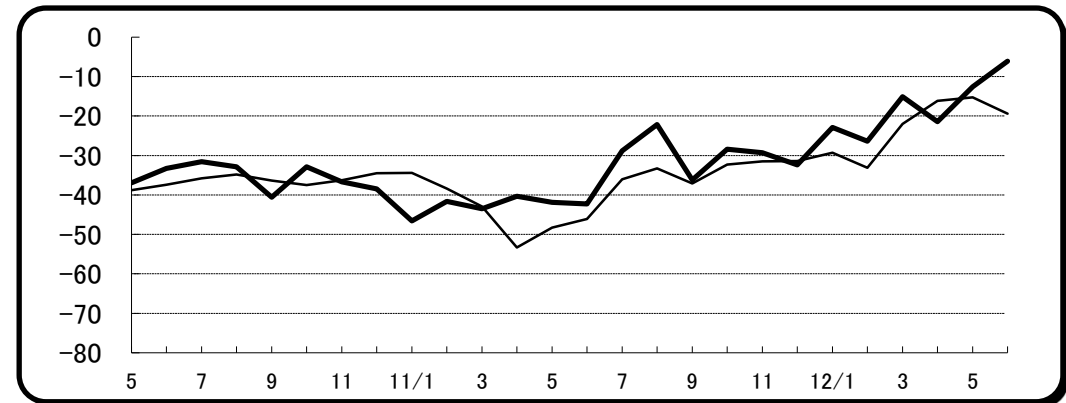
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 6.3
製造	▲ 31.6	▲ 35.7	▲ 15.4	0.0	5.6	▲ 7.1	▲ 28.6
卸売	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6
小売	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 4.8	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 47.6	▲ 38.1
サービス	▲ 27.6	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 12.5

採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業で改善、その他の3業種で悪化した。
 ○建築工事業からは、「解体や改修工事の受注が、震災前と比べて40%増加している」とのコメント。鋳物製造業からは、「売上・採算面では横ばいだが、今以上に円高が進めば利益に影響が出る」とのコメント。建築材料卸売業からは、「復興関連の動きはあるものの、資材不足が心配」との声、食品スーパーからは、「大型量販店との価格競争が激化。量販店よりも品揃えや価格を充実させないと厳しい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、サービス業は改善するものの、建設業、製造業で悪化。その他の2業種は横ばいの見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7~9月
業況	▲ 10.9	▲ 25.6	4.5	▲ 4.1	▲ 1.6	▲ 9.1	▲ 14.0
売上	▲ 10.9	▲ 23.1	3.6	9.8	9.0	▲ 1.7	▲ 4.1
採算	▲ 15.0	▲ 29.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 11.6
資金繰り	▲ 15.0	▲ 18.1	▲ 13.5	0.8	2.5	▲ 2.5	▲ 12.5
仕入単価	▲ 36.6	▲ 29.1	▲ 34.8	▲ 43.1	▲ 35.2	▲ 32.5	▲ 21.7
従業員	7.9	0.0	1.8	5.7	6.6	6.6	4.1

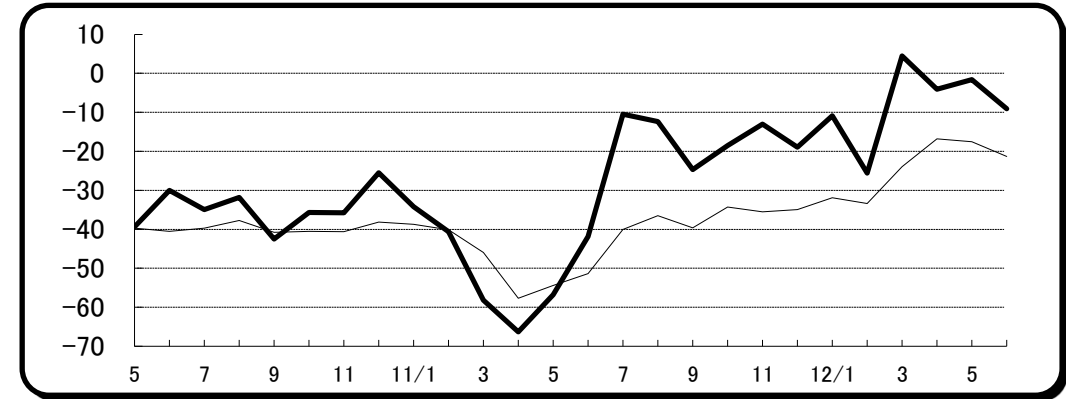
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7~9月
建設	10.5	4.8	16.7	4.2	▲ 8.7	8.3	4.2
製造	▲ 8.3	▲ 26.7	▲ 3.6	▲ 10.0	7.4	▲ 6.5	▲ 25.8
卸売	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 44.4	▲ 14.3	▲ 11.1	0.0	0.0
小売	▲ 12.0	▲ 13.3	13.8	▲ 12.9	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
サービス	▲ 26.9	▲ 57.1	10.7	6.5	▲ 3.1	▲ 18.5	▲ 14.8

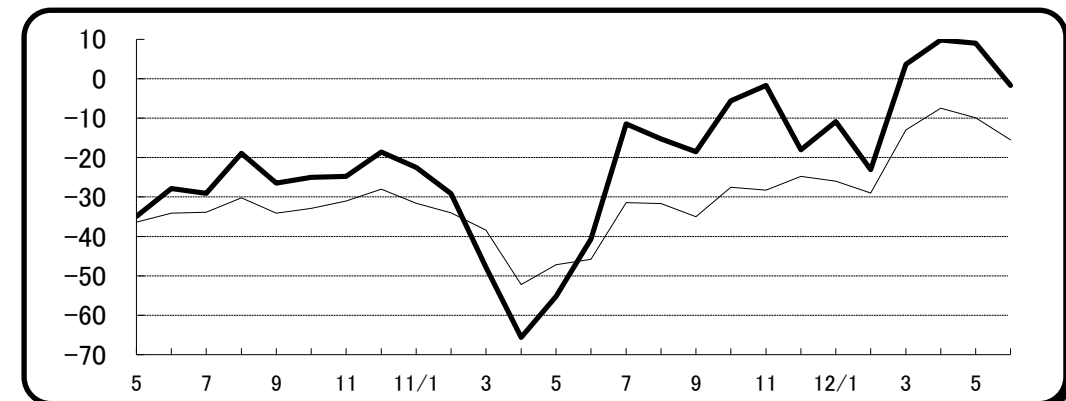
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北 —— 全国

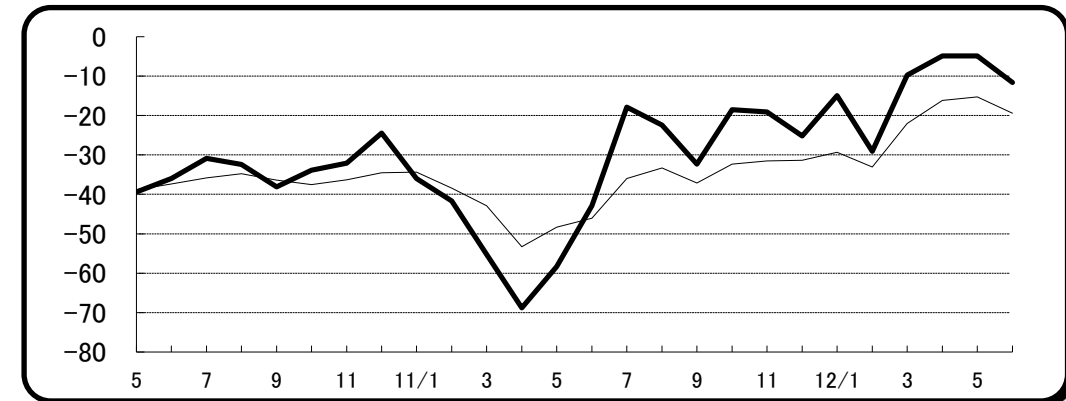
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業はほぼ横ばい、製造業はマイナス幅が縮小、その他の3業種でマイナス幅が拡大した。
 ○電気工事業からは、「公共工事が減少し、受注競争が激化。利益も減っている」とのコメント。一般機器卸売業からは、「仕入先から値上げを通達されたが、上昇分を販売価格に転嫁できていない」とのコメント、百貨店からは、「消費者の購買意欲は総じて慎重なもの、クールビズや涼感グッズ、UVカット商品は関心が高く好調」とのコメント。旅館業からは、「円高により、海外からの観光客が減少。特に韓国人旅行者が減っている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、製造業、小売業でマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 27.7	▲ 41.0	▲ 22.6	▲ 20.7	▲ 17.5	▲ 24.2	▲ 17.8
売上	▲ 20.0	▲ 38.3	▲ 10.1	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 24.2	▲ 15.8
採算	▲ 22.5	▲ 39.6	▲ 18.2	▲ 23.0	▲ 16.9	▲ 24.8	▲ 20.4
資金繰り	▲ 17.7	▲ 29.1	▲ 15.1	▲ 17.0	▲ 13.9	▲ 15.9	▲ 13.1
仕入単価	▲ 22.5	▲ 24.8	▲ 31.2	▲ 32.6	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 18.4
従業員	1.5	▲ 8.2	0.6	▲ 1.5	0.7	▲ 3.3	0.0

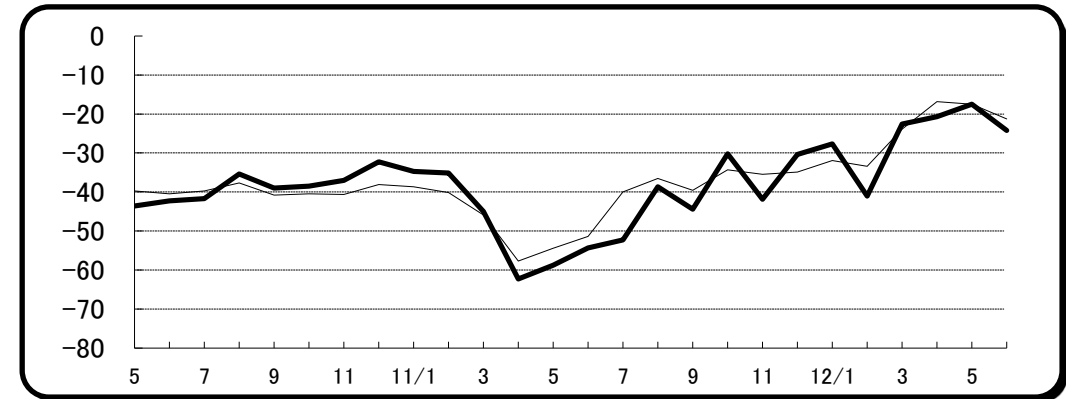
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 34.6	▲ 43.3	▲ 48.5	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 25.8
製造	▲ 6.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 8.8	▲ 14.7
卸売	▲ 21.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 15.8	0.0
小売	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 17.6	▲ 25.9	▲ 20.0	▲ 22.9	▲ 25.7
サービス	▲ 41.4	▲ 45.5	▲ 5.1	▲ 17.9	▲ 5.3	▲ 33.3	▲ 15.2

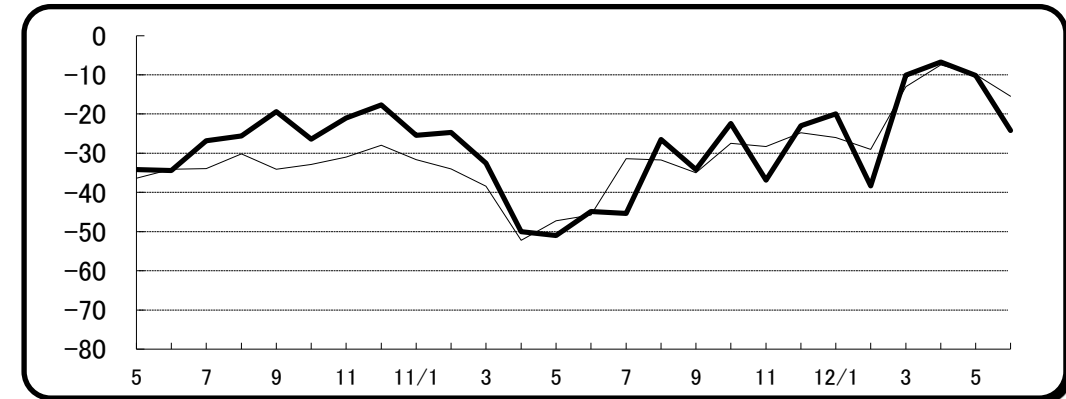
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小したものの、その他の2業種で悪化した。
 ○一般工事業からは、「旧市街地を中心に大手デベロッパーによる再開発が進み、住宅等の発注が増加」との声、家具製造業からは、「取引先の大手家具卸店や小売店が、東南アジアからの仕入を増やしている」とのコメント。食料卸売業からは、「昨年と比べて売上は増加しているものの、仕入価格も依然高いため、採算がなかなか好転しない」とのコメント。飲食店からは、「街は観光客で賑わっているが、売上に結びついていない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみても、全業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 31.0	▲ 32.4	▲ 19.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 26.3
売上	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 5.4	3.7	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 23.1
採算	▲ 29.8	▲ 32.8	▲ 17.2	▲ 8.0	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 29.9
資金繰り	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 10.1	▲ 12.8	▲ 19.3
仕入単価	▲ 24.6	▲ 22.7	▲ 30.9	▲ 29.5	▲ 26.2	▲ 18.2	▲ 17.9
従業員	0.9	▲ 0.7	1.2	2.1	▲ 0.4	1.7	▲ 0.2

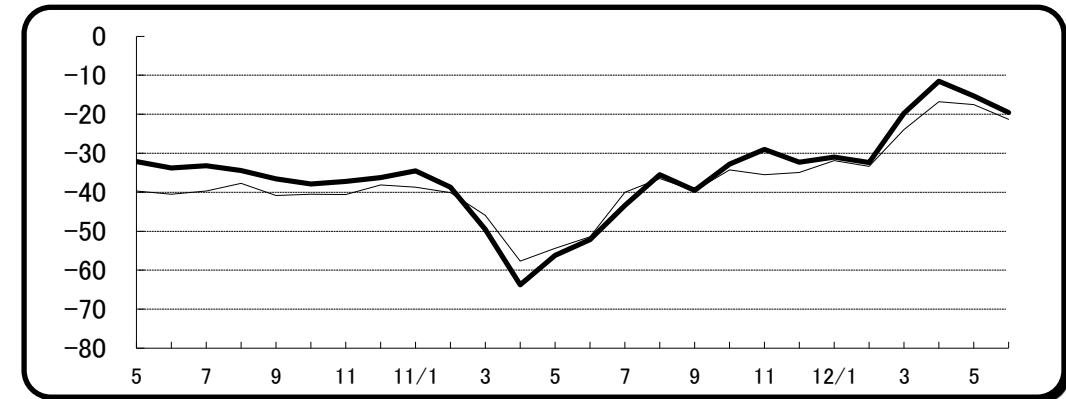
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 18.9	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 19.4	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 17.8
製造	▲ 27.2	▲ 26.6	▲ 7.9	▲ 7.3	▲ 9.3	▲ 24.0	▲ 30.0
卸売	▲ 18.8	▲ 21.6	▲ 25.9	▲ 3.4	▲ 6.2	▲ 1.6	▲ 16.4
小売	▲ 39.8	▲ 48.5	▲ 23.7	▲ 29.0	▲ 25.7	▲ 24.3	▲ 33.3
サービス	▲ 41.2	▲ 37.0	▲ 16.8	0.9	▲ 13.9	▲ 24.3	▲ 27.0

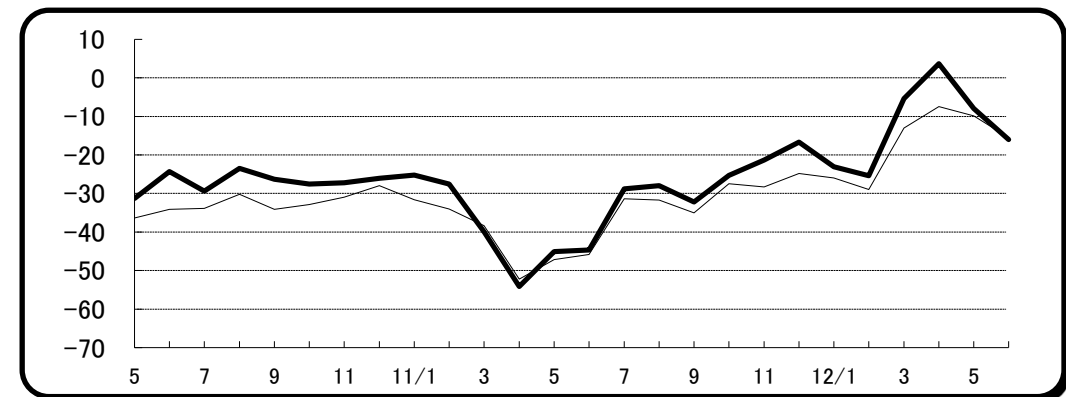
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東 —— 全国

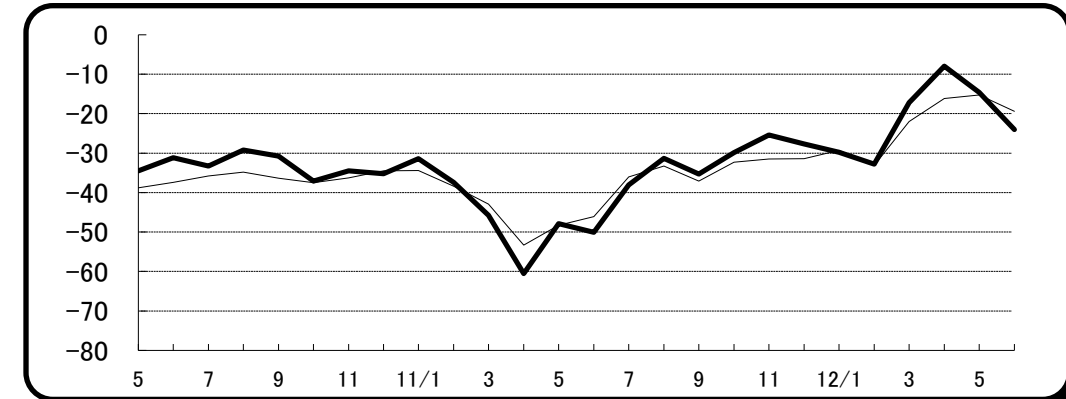
業況



売上



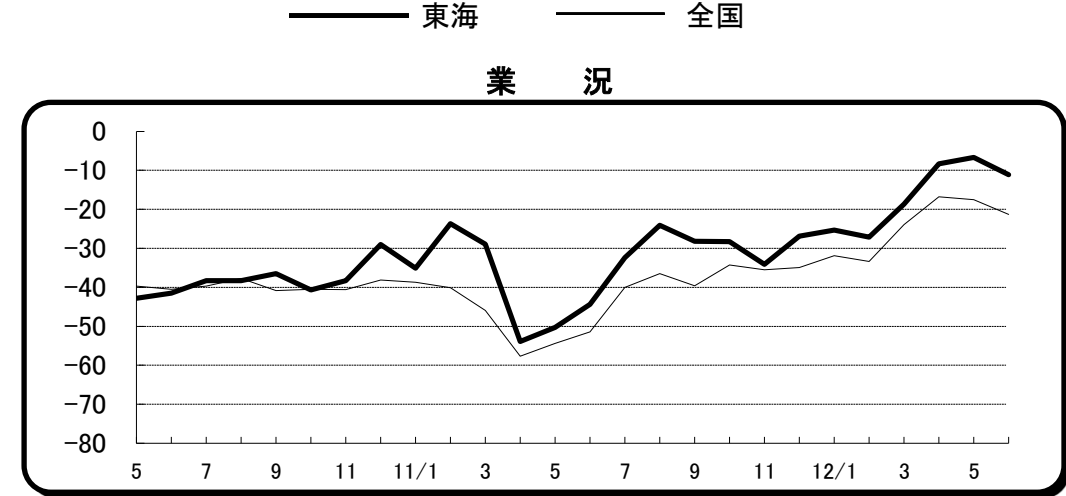
採算



【ブロック別概況・東海】

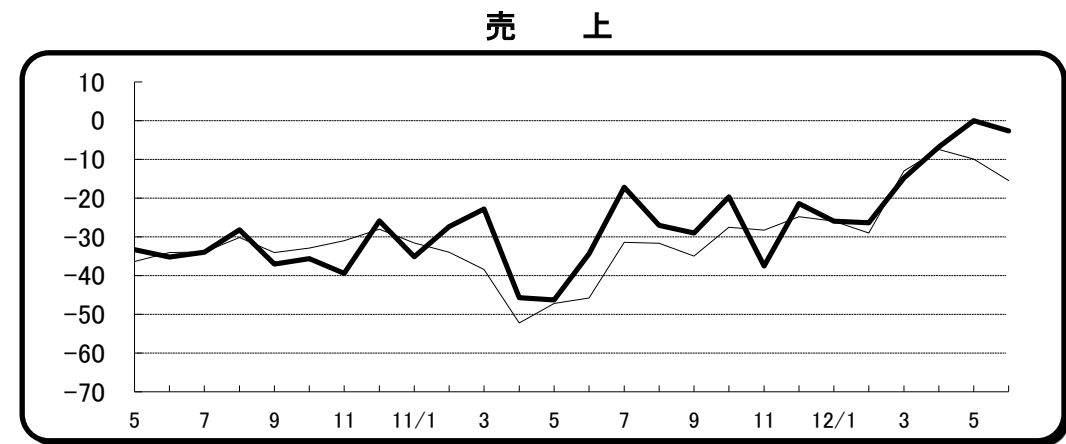
○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、サービス業は改善したものの、その他の3業種は悪化した。
 ○一般工事業からは、「技術承継と営業強化を図るため、技術職・営業職で採用を実施」とのコメント。自動車部品製造業からは、「取引先が海外生産を増やしており、コストカットの要求もされている。自社も海外展開をしないと生き残れない」とのコメント。総合スーパーからは、「競合他店が安売りに動いている。消費者も価格に敏感なため、自社も値下げ対応をしている」との声、ソフトウェア開発業からは、「プログラム開発が好調なものの、人件費が高く、採算は厳しい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業、小売業は改善するものの、その他の2業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



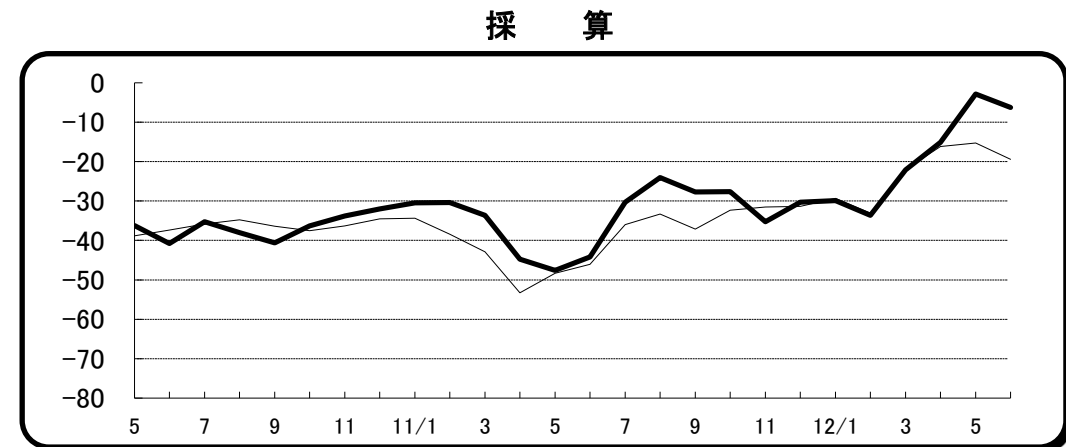
全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 25.3	▲ 27.1	▲ 18.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 15.4
売上	▲ 26.0	▲ 26.4	▲ 14.8	▲ 6.8	0.0	▲ 2.7	▲ 12.7
採算	▲ 29.9	▲ 33.6	▲ 22.1	▲ 15.1	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 14.8
資金繰り	▲ 16.1	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 6.3	▲ 7.8	▲ 12.4	▲ 14.6
仕入単価	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 26.3	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 16.1	▲ 12.9
従業員	▲ 3.2	0.7	▲ 5.0	5.7	0.5	3.7	4.8



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 13.6	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 17.4	0.0
製造	▲ 15.9	▲ 19.0	0.0	7.8	14.5	5.2	▲ 10.3
卸売	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 5.3	▲ 15.8	0.0	▲ 22.2	▲ 16.7
小売	▲ 40.0	▲ 43.3	▲ 53.7	▲ 25.6	▲ 34.1	▲ 42.1	▲ 36.8
サービス	▲ 22.9	▲ 24.2	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 3.6	0.0	▲ 11.8



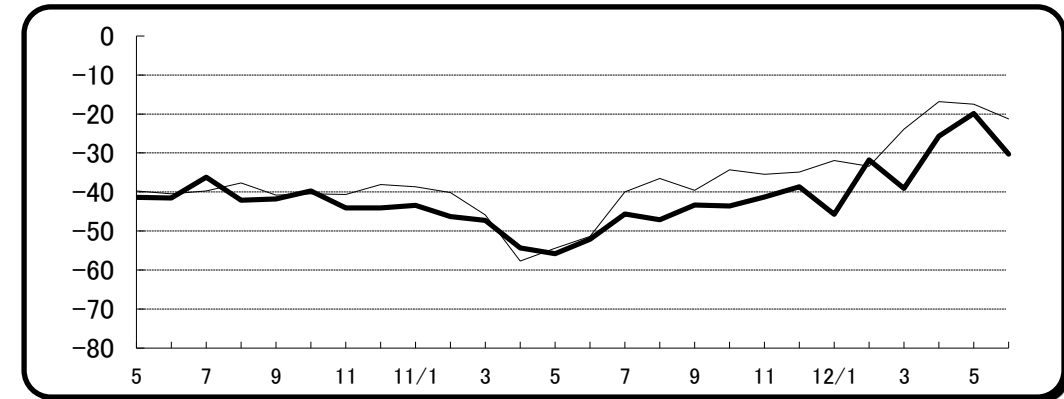
【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小したもの、その他の3業種で拡大した。
 ○電子応用装置製造業からは、「受注状況は好調。経営体質の強化を図り、現在の状況を維持したい」との声、船舶製造・修理業からは、「元請け会社の受注が減少。自社への発注も減り、先行きは不透明」とのコメント。農畜水産卸売業からは、「昨年度と比べて回復傾向にあるが、力強さがない。低価格品にも押され気味」とコメント。食品スーパーからは、「ショッピングセンターがオープンし、ディスカウントストアが進出。競争が激化しており、自社も価格を下げざるを得ない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、製造業は横ばい、小売業はマイナス幅が拡大するものの、その他の2業種は改善する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

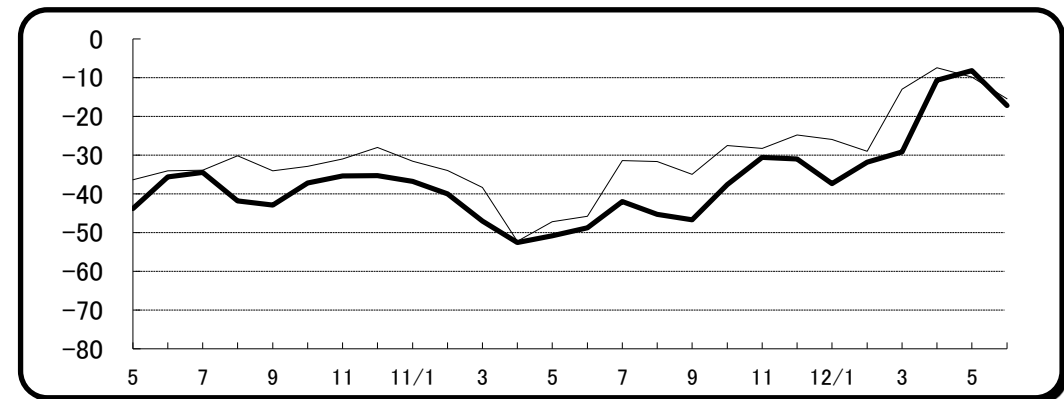
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 45.7	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 25.7	▲ 19.9	▲ 30.3	▲ 28.6
売上	▲ 37.4	▲ 31.8	▲ 29.2	▲ 10.7	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 24.1
採算	▲ 36.8	▲ 31.5	▲ 39.9	▲ 26.0	▲ 18.9	▲ 28.2	▲ 31.4
資金繰り	▲ 24.9	▲ 18.8	▲ 23.7	▲ 13.6	▲ 8.8	▲ 12.2	▲ 17.4
仕入単価	▲ 29.9	▲ 17.5	▲ 30.8	▲ 31.1	▲ 28.4	▲ 18.1	▲ 19.4
従業員	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 8.6	0.0	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 4.0

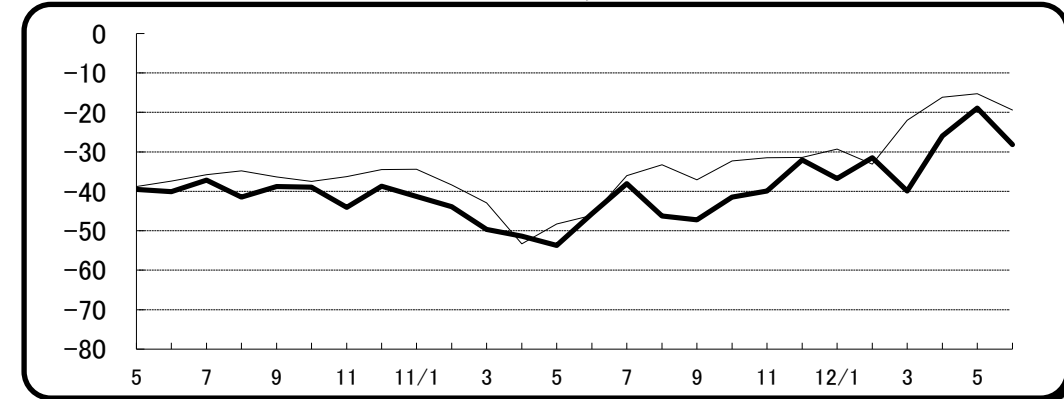
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 4.8	▲ 22.2	▲ 22.2
製造	▲ 30.4	▲ 17.0	▲ 31.9	▲ 15.4	▲ 13.2	▲ 11.3	▲ 11.3
卸売	▲ 21.4	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 5.3
小売	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 46.2	▲ 29.5	▲ 29.1	▲ 47.7	▲ 50.0
サービス	▲ 48.9	▲ 50.0	▲ 37.2	▲ 26.3	▲ 20.8	▲ 43.9	▲ 41.5

採算



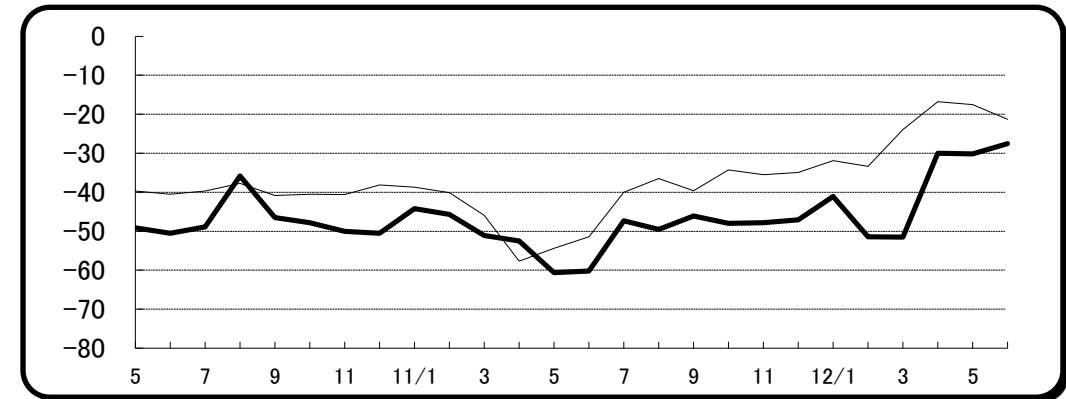
【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小、その他の2業種でマイナス幅が拡大した。
 ○一般工事業からは、「水害の復旧工事により、一時的に受注が増加」とのコメント。煉瓦製造業からは、「震災により大きく落ち込んだ昨年と比べ、売上が増加し、持ち直した」とのコメント。総合スーパーからは、「近隣に小売店が進出してきており、業況は悪化している」との声、旅館業からは、「売上はあるが利益が上がっておらず、新規の設備投資ができない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、サービス業はマイナス幅が縮小するものの、その他の4業種で悪化する見込み。

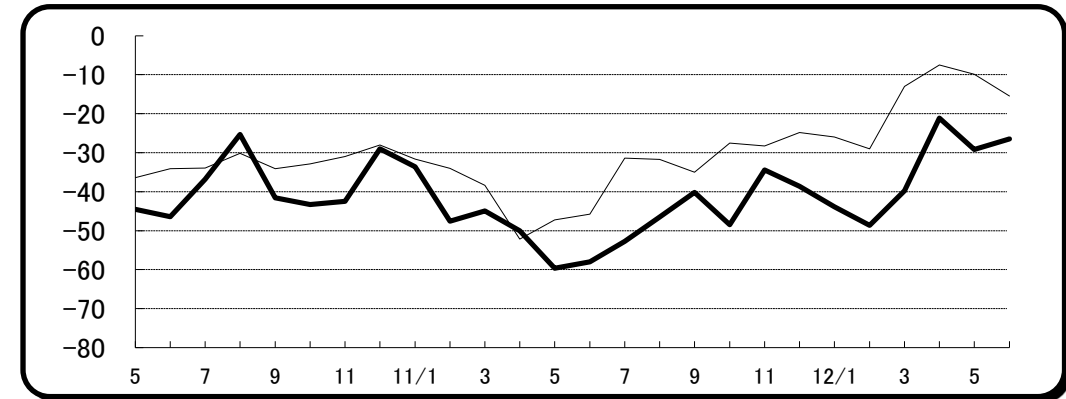
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

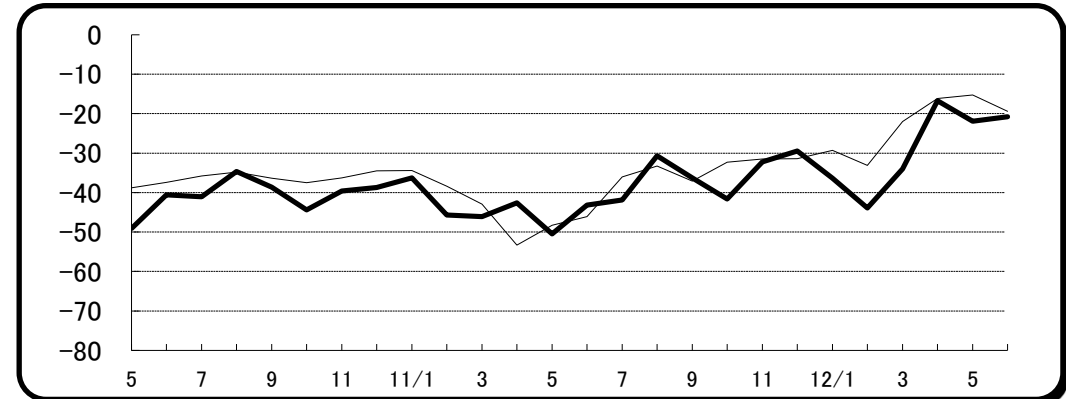
業 況



売 上



採 算



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業 況	▲ 41.1	▲ 51.4	▲ 51.5	▲ 30.0	▲ 30.2	▲ 27.5	▲ 36.3
売 上	▲ 43.9	▲ 48.6	▲ 39.8	▲ 21.1	▲ 29.2	▲ 26.5	▲ 20.8
採 算	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 34.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 20.8	▲ 17.8
資金繰り	▲ 25.5	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 14.8	▲ 20.0	▲ 16.8	▲ 23.8
仕入単価	▲ 12.3	▲ 15.2	▲ 18.6	▲ 21.6	▲ 17.9	▲ 11.9	▲ 10.9
従 業 員	▲ 19.6	▲ 16.8	▲ 15.5	▲ 16.7	▲ 15.6	▲ 10.8	▲ 9.8

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建 設	▲ 42.9	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.1
製 造	▲ 32.3	▲ 34.3	▲ 39.3	▲ 29.6	▲ 23.3	▲ 20.0	▲ 33.3
卸 売	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 53.8	▲ 26.7	▲ 18.8	▲ 42.9	▲ 50.0
小 売	▲ 41.9	▲ 59.3	▲ 75.0	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 48.0	▲ 56.0
サービス	▲ 58.8	▲ 76.5	▲ 45.0	▲ 29.4	▲ 44.4	▲ 20.0	▲ 15.0

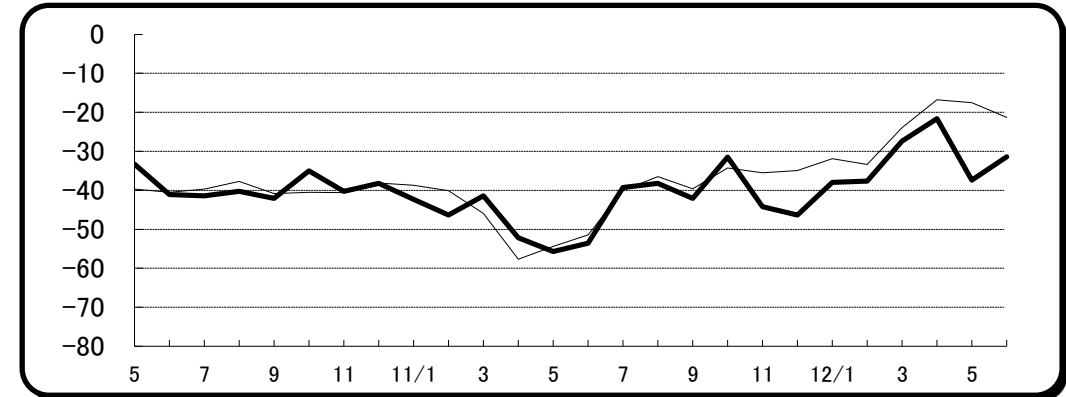
【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、卸売業でマイナス幅が拡大、その他の4業種で縮小した。
 ○織物製造業からは、「仕入単価は落ち着き、受注量も回復している。従業員が不足傾向」とのコメント。一般機械製造業からは、「取引先からの発注量が減少しており、受注出来ても低価格での対応を余儀なくされている」との声、繊維品卸売業からは、「主要取引先が大手小売に買収されたことで、自社との取引が減少」とのコメント。総合スーパーからは、「県外から進出してきた店舗との競争が激しい。一方で消費マインドは低調なため、新たなターゲット開拓が不可欠」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ横ばいの見込み。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小するものの、その他の3業種で悪化する見込み。

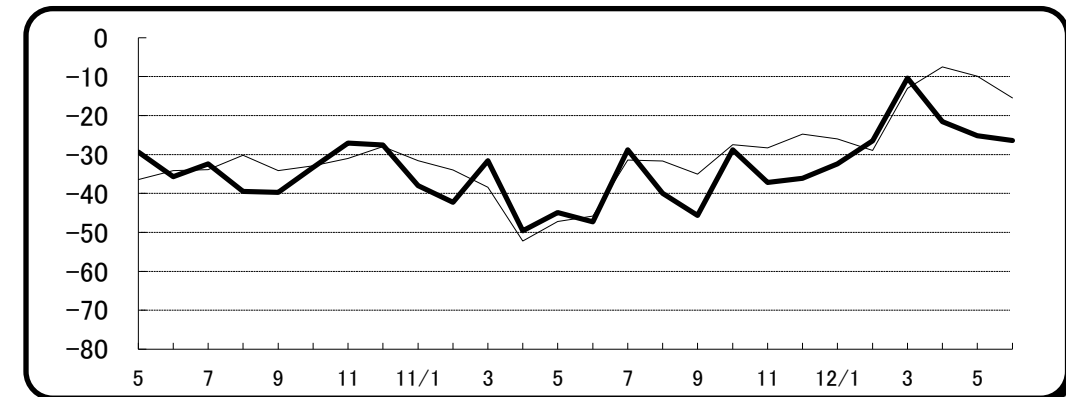
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

——— 四国 ——— 全国

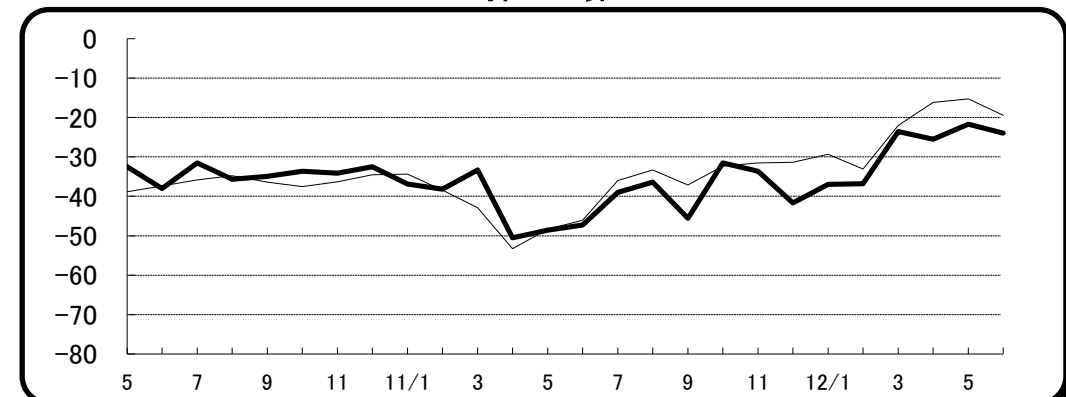
業 況



売 上



採 算



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業 況	▲ 38.0	▲ 37.6	▲ 27.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 31.4	▲ 31.4
売 上	▲ 32.4	▲ 26.5	▲ 10.4	▲ 21.6	▲ 25.2	▲ 26.4	▲ 26.4
採 算	▲ 37.0	▲ 36.8	▲ 23.6	▲ 25.5	▲ 21.7	▲ 24.0	▲ 22.3
資金繰り	▲ 28.7	▲ 24.8	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 21.5
仕入単価	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ 22.6	▲ 31.4	▲ 27.8	▲ 24.0	▲ 16.5
従 業 員	▲ 6.5	▲ 1.7	▲ 3.8	1.0	▲ 3.5	▲ 3.3	▲ 0.8

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建 設	▲ 61.1	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 52.4	▲ 42.9	▲ 23.8
製 造	▲ 30.8	▲ 32.3	▲ 16.0	▲ 15.4	▲ 34.5	▲ 17.9	▲ 21.4
卸 売	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 30.0	▲ 11.1	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 25.0
小 売	▲ 44.4	▲ 48.3	▲ 30.8	▲ 20.8	▲ 44.4	▲ 43.3	▲ 53.3
サービス	▲ 28.6	▲ 27.6	▲ 18.5	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 26.7

【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が拡大、その他の2業種でマイナス幅が縮小した。
 ○一般工事業からは、「公共工事が減少。民間からの設備投資も減る見込みで、業況は悪化している」とのコメント。金属加工機械製造業からは、「主要取引先の造船業が低調のため、受注が半減。その他の取引先も海外移転が進み、発注が少ない」とのコメント。百貨店からは、「客単価が安いいため、客数を増やさなければ、売上が維持できない」との声、旅行業からは、「格安プランへの動きが強く、事業収益を圧迫。競合他社との価格競争も激しい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業はマイナス幅が縮小、サービス業はほぼ横ばい、その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
業況	▲ 33.1	▲ 29.5	▲ 31.3	▲ 28.5	▲ 30.5	▲ 25.2	▲ 30.7
売上	▲ 19.0	▲ 20.8	▲ 16.0	▲ 26.4	▲ 24.1	▲ 19.9	▲ 18.5
採算	▲ 27.7	▲ 25.4	▲ 20.8	▲ 23.4	▲ 30.7	▲ 15.2	▲ 21.3
資金繰り	▲ 28.4	▲ 15.5	▲ 26.0	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.0	▲ 21.5
仕入単価	▲ 34.8	▲ 24.8	▲ 34.6	▲ 33.3	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 13.4
従業員	▲ 2.8	1.6	▲ 5.4	▲ 6.9	▲ 6.4	▲ 2.6	0.0

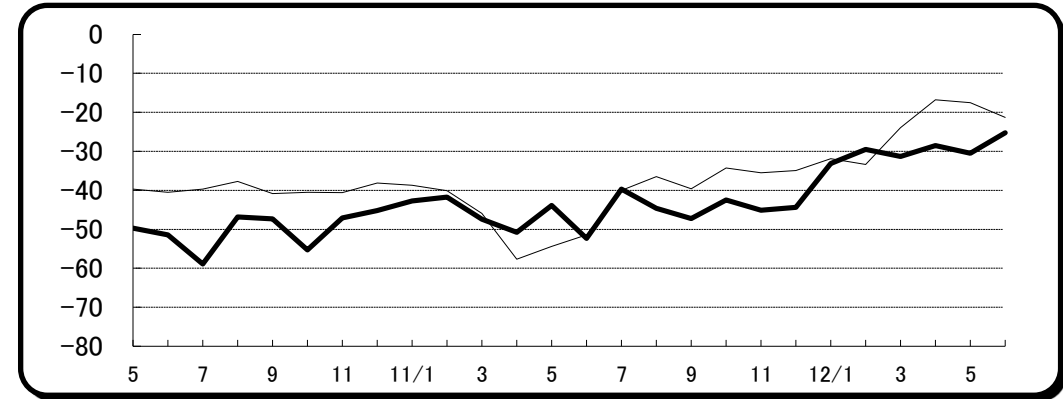
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
建設	▲ 43.5	▲ 70.0	▲ 58.3	▲ 45.5	▲ 38.1	▲ 42.9	▲ 66.7
製造	▲ 43.3	▲ 46.4	▲ 25.8	▲ 26.5	▲ 13.8	▲ 18.2	▲ 27.3
卸売	▲ 11.8	▲ 31.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 19.0	0.0	▲ 5.0
小売	▲ 40.0	▲ 26.5	▲ 22.9	▲ 37.1	▲ 55.6	▲ 35.9	▲ 33.3
サービス	▲ 21.6	9.7	▲ 24.1	▲ 8.6	▲ 20.6	▲ 23.7	▲ 24.3

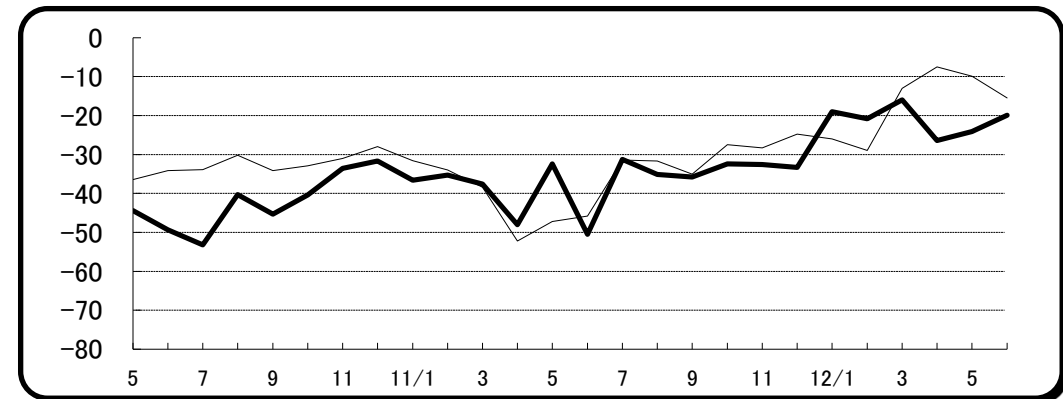
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

